

大腿骨近位部骨折(安定/不安定)骨接合術
入院診療計画書

病棟(病室)

疾患名

主治医

看護師

療法士

薬剤師

栄養士

ID:

0

氏名:

0

| 目標 | 入院日 | 手術前日 | 1月1日 | | 1月2日 | 1月3日 | 1月4日 | 1月7日 | 1月8日 | 1月9日 | 1月11日 | 1月12日 | 1月13日 | 1月15日 | | |
|----------|--|------|--|---------|---|------|---|------|---|------|--------------|-------|---|-------|--------------|--|
| | | | 手術当日(前) | 手術当日(後) | 術後1日 | 術後2日 | 術後3日 | 術後6日 | 術後7日 | 術後8日 | 術後10日 | 術後11日 | 術後12日 | 術後14日 | | |
| 目標 | □不安なく手術を受けられる | | | | □正しい足の位置がわかり保持できる □安全に車椅子に移動できる | | | | □ふらつきがなく立てる | | | | □車椅子に軽介助が見守りで移れる | | | |
| 内服点滴 | 現在内服中の薬については指示に従って下さい 手術2日前の寝る前に下剤を飲みます | | 指示のある時は、手術前に飲む薬があります 点滴開始  | | 痛みの強い時は指示された痛み止めを使います 点滴終了です | | | | | | | | | | | |
| 検査処置 | 採血をします 血液型バンドをつけます 浣腸をします 患部の消毒をします 検温をします  | | 弾性ストッキングをはきます 手術部位を冷やします 採血があります  | | 採血があります  | | 手術創部の確認、処置を行います(月・火・木・土) 採血があります  | | 採血があります  | | レントゲン撮影があります | | 抜糸予定です  採血があります  | | レントゲン撮影があります | |
| 食事 | 必要に応じて栄養士の訪問があります | | 0時からは食べられません 6時からは飲食できません | | 帰室後3時間後にお腹の状態を聞きます 飲水テストをします 状態により飲食を開始します | | | | | | | | | | | |
| 安静リハビリ | 安静度については指示に従ってください リハビリスタッフが訪問します(術後に訪問する場合があります) | | ベッドの頭の位置は30度まで上げられます  | | リハビリ開始です 車椅子移乗練習  ベッド上でも運動しましょう 手術した方の足も関節の運動をしましょう 頭の位置は90度まで上げられます  | | 痛みに応じて歩行練習をします | | | | | | | | | |
| 排泄 | | | 手術室で尿の管が入ります | | 尿の管を抜きます 車椅子トイレを使用します(看護師付添) | | | | | | | | | | | |
| 清潔 | 入浴または身体を拭きます 髭剃り、爪切りをしてください マニキュアは落として下さい  | | | | 体を拭きます 陰部を洗います  | | 身体を拭きます(以後週3回)  | | | | | | 抜糸翌日より入浴できます  | | | |
| 説明指導 | 入院・手術・薬についての説明があります 麻酔科医の診察があります 相談員の訪問があります | | 医師から家族に説明があります 検査、安静度について説明があります | | 麻酔科医の診察があります ベッドに横たわっている時は、褥瘡予防に努めるため、2~3時間おきに身体の向きを変えます。 | | 総合評価 □あり □なし | | 手術後、特別な合併症がなければ、手術後3週間を目処に転院となります。転院後は退院に向けてより専門的なりハビリを集中的に継続します。 | | | | 転院予定日 退院指導・服薬指導があります | | | |
| 症状 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本人・家族の要望 | | | | | | | 特別な栄養管理の必要性 | | □あり □なし | | 日常生活能力 | | □問題なし □介助が必要な状態です | | | |
| 看護計画等 | | | | | | | | | | | 認知機能 | | □問題なし □不安定な部分があります | | | |
| | | | | | | | | | | | 気分・心理状態 | | □問題なし □不安定な部分があります | | | |

本人氏名

説明日

西暦

年

月

日

主治医氏名

親族または代理人氏名

続柄: